

半導体漫遊記

湯之上隆

68

私は、2020年のある。

東京五輪開催決定を、どうしても心の底から喜ぶ気になれない。その原因は、安倍晋三首相が最終プレゼンで、福島原発の汚染水問題に対して、「私が安全を保証します」「状況はコントロールされています」「汚染水は福島第一原発の0.3平方メートルの港湾内に完全にブロックされています」「福島近海でのモニタリング数値は、最大でもWHO(世界保健機関)の飲料水の水質ガイドラインの50分の1となっていて、増していいま

す」と発言したことに

た資料によれば、福島原発1〜4号機には山側から、1日1000トンの水が流れ込み、このうち400トが原発建屋に流入している。残りの600トの一部がトレンチ内の汚染源に触れて、汚染水として海に放出されている。結果、8月末には、国際原子力事象評価尺度に基づいて「重大な異状」に当てるレベル3と判断し、国際原子力機関(IAEA)に報告した。

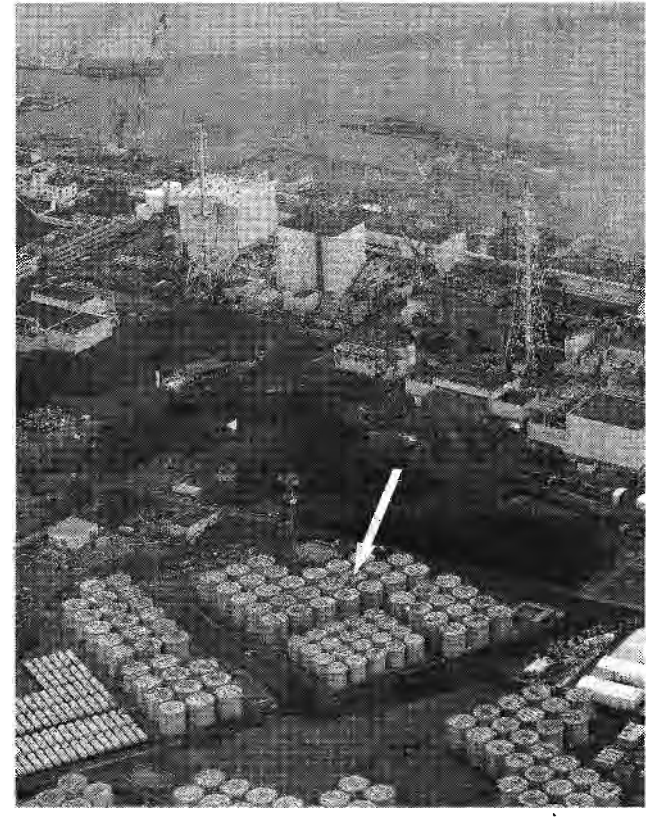
感があると書いています。東電では流入する汚染水をくみ上げタンクに貯蔵しているが、そのタンクは1000基を超え、貯蔵されている汚染水は34万ト以上増え続けるのか分から

る。このような危機的状況の中で、一体どのような認識をすれば、状況は制御されていることになるのだろうか? 誰が見ても五輪招致のために、大

福島原発の汚染水「制御」

大うそつきか奇跡の復興か

に制御できている」よいうに実行に移してもらいたい。約束を違えれば、世界中から「日本首相は大うそつき」と非難を浴びることになるだろう。逆に汚染水問題を完全に解決した上で、福島第一原発の廃炉を推進しつつ、東京五輪が本当に実現するかもしれない。試算した5兆円の経済効果が生み出され、大崩壊してしまった日本半導体や電機産業などが息を吹き返し、その結果、失われた20年に(微細加工研究所・所長)



を切ったのだから、7年後には「状況は完全に制御されている」と言えるのか? 誰が見ても五輪招致のために、大うそつきか奇跡の復興か